

尾ノ上の風

第6号



学ぶ きたえる 助け合う

文責:校長 村上 正祐

人権集会 ～いじめ根絶月間～

6月は、いじめ根絶月間として熊本市内の小中学校すべてで人権教育に取り組みました。尾ノ上小学校でも各学級で、資料を使ったり、自分たちの生活を振り返ったりして、人権意識を高める学習を行ってきました。

6月末の集会では、各学年の代表の子どもたちがステージに立ち、報告発表を行いました。この期間だけでなく、今後も継続的に取り組んでいくことをみんなで確認しました。尾ノ上小に通う児童みんなが笑顔で通えるよう粘り強く取り組んで参ります。



6月の人権集会

授業参観・学級懇談会ありがとうございました

梅雨の時期の大雨警報が月曜から継続中でしたが、2日は比較的雨も激しくなく、たくさんの保護者の方に授業を参観していただき、ありがとうございました。各学級で、教科の授業や発表会、外国語活動など、子どもたちの学習の様子を見ていただきました。5・6年生は、子どもたちと保護者の方に向けて、情報モラルの授業を実施しました。教育センターICT支援室の指導員に来ていただき、実際に尾ノ上小の子どもたちにアンケートした結果などの紹介も入れて講演をしてもらいました。ネット社会での注意点を聞いたり、LINEで、夜遅くまで友だちとやりとりをしている場合の断り方などをグループで話し合ったりしながら、ネット社会でのモラルについて学ばせてもらいました。学級懇談会では、学校の様子をご理解できたでしょうか。今後、どのような話題をお聞きになりたいか、担任にお伝えいただければと思います。

大雨警報による一斉下校

今週の3日（水）は、梅雨前線による大雨の警報が予想され、午前中授業・給食後下校の対応を取りました。下校時に大雨が降ることなく、無事に下校できました。ただ、いくつかの問題もあがりました。ひとつは、安心安全メールを朝と昼の2回、発信したのですが届いていない方がおられました。調べてみると登録がエラーで完了していなかったようです。今回、メールを受信できなかった方はもう一度登録をされることをお勧めします。登録用紙が必要な方は担任にお伝えください。ふたつめは、一斉下校の際に車で迎えに来られ、近隣の商業施設に駐車された方が多かったことです。お店を利用される方が停められない事態になったようです。迷惑駐車については、絶対にされませぬよう切にご協力をお願い

こんにちは！お仕事&授業拝見5 4年3組 鶴川先生編

4年3組の鶴川先生の算数の授業を拝見しました。大学を出たばかりの先生は、声に張りがあり、何といっても笑顔があり明るい雰囲気です。子どもたちは先生が大好きです。この日の学習問題は、テレビ塔、学校、ビルの3つの建物の高さの関係から1つの建物の高さを求める問題。3つの対象物を関係図に表して考え方を学ぶのがねらいでした。

先生は、子ども自身にまずノートに書いて考える時間を取られ、ノートを思考の基地としているところがいいなと思いました。プリントを用意すれば、さっと取りかかれて便利ですが、ノートに書いて考えるくせはつきにくいものです。ノートにどんどん自分の考えや図などを書くことができる子どもたちを育てようとしていました。

この時間に、関係図に表す良さや便利さに気づかせることがなかなかむずかしかったようです。先生は、「これってわかんない人」と聞いておられましたが、このように聞いていくことは大切で、きちんと手を挙げて「わからない」と言っている子どもがいて、すばらしいと思いました。「わかった人？」と聞いて、手を挙げた子を中心に進めていくと、授業は進みますが理解していない場合が多いものです。

分からない子どもたちを出さない、子どもたちに力をつけたいと鶴川先生は考えておられ、教育センターから講師を派遣してもらって、楽しい授業、子どもが意欲的になる授業ができるよう勉強もされています。今後の成長に期待したいと思います。



子どもの発言に耳を傾ける鶴川先生



鶴川 諒太 (つるかわりょうた)先生 尾ノ上小1年目

【鶴川先生にインタビュー】 どうして先生になろうと思ったのですか。

中学1年のとき、校則を破ってサッカー部をやめると部活の先生から言われたことがあります。そのとき、担任だったT先生が「こんなことであきらめる人ではないでしょ。」と前を向かせてくれました。その先生との出会いがとっても大きいですね。

こんにちは！お仕事&授業拝見6 3年4組 芹川先生編



芹川先生の国語の授業を1時間拝見しました。この日は、話したいこと、嬉しかったことをテーマにスピーチする練習の学習に、iPadを使った授業を参観することができました。

まず、先生が自作の作文を実物投影機で電子黒板に映しながら実演して見せて、どのように手直しをすればよいかを説明し、子どもたちの原稿に子どもたち自身で注意点を赤鉛筆で書き入れさせました。次に、お待ちかねのiPad。初めて使うアプリなので、ログインの仕方から一つ一つスモールステップを踏んで全体で確認しながら進めました。ログインすると、タブレットで緊張しながら自分のスピーチを自画撮り。子どもたちはすぐに見たくてたまらなかったようです。

先生は、1人の男子児童の動画クリップを電子黒板で再生して見せて、スピーチの3つのポイントに沿ってコメントされ、「初めてなのに、顔を上げるところはとてもよくできていたね」と褒められると、男の子はうれしそうでした。

この後、自分の動画を見てから、録画タイムを取ると子どもたちは、さらに集中して練習に取り組む姿が見られました。その場で何度でも録画しては再生して見て自分で考える。自分自身をその場で見て修正できるという活用が、本時の子どもたちの意欲的な学習につながった授業を見ることができました。



自画撮りして練習する様子(上)とiPadを見る子ども(下)



芹川 貴美子 (せりかわきみこ)先生 尾ノ上小2年目(10年前、尾ノ上小に5年間勤務)

【芹川先生にインタビュー】 どうして先生になろうと思ったのですか。

小学校3年生のときの先生が図書館をよく使わせてくれたんです。本好きだった私は、たくさん本に出合わせてくれた先生のおかげで、知らないことを知るよこびを味わえました。知らないことを知りたいと思ったのが先生になったきっかけです。